

平成23年深谷市教育委員会第9回定例会会議録

深谷市教育委員会

平成23年深谷市教育委員会第9回定例会

日 時	平成23年9月13日(火)
	開 会 午後1時30分
	閉 会 午後2時40分
場 所	深谷市教育庁舎 大会議室
出席委員	委 員 長 塩 谷 治 代 委員長職務代理者 柿 澤 俊 雄 委 員 田 中 章 子 委 員 西 倉 郁 夫 教 育 長 小 柳 光 春
出席職員	教 育 次 長 塚 原 寛 治 次 長 五十嵐 治 郎 次 長 豊 田 尚 正 次 長 澤 出 晃 越 教育総務課長 新 堀 浩 一 教育施設課長 大 川 清 学校教育課長 神 田 昌 文 生涯学習課長 武 井 茂 図書館長 小 暮 利 明
書 記	教 育 総 務 課 葦 塚 洋 明 課 長 補 佐

1 開会

委員長が開会を宣告

2 前回議事録の承認

第8回定例会の会議録を全員異議なく承認。

3 会議録署名委員の指名

委員長が塩谷委員（1号委員）並びに田中委員（3号委員）を指名。

4 会議の概要

（1）会議

- ① 報告1 深谷市教育委員会後援に関する事務取扱要綱に基づく承認について
教育総務課長より説明
- ② 報告2 工事請負契約等の締結について
教育施設課長より説明
- ③ 報告3 平成23年度埼玉県小・中学校学習状況調査結果等の公表に係るガイドラインと深谷市の結果概要について
学校教育課長より説明
- ④ 報告4 平成23年度各教科等に係る教職員研修について
学校教育課長より説明
- ⑤ 報告5 渋沢栄一没後80年記念事業について
生涯学習課長より説明
- ⑥ 報告6 第6回ふかやシティーハーフマラソンについて
生涯学習課長より説明
- ⑦ 議事1 議案第44号 深谷市小中一貫コーディネーター設置規則
学校教育課長より説明
- ⑧ 議事2 議案第45号 深谷市小中連携教科指導講師設置規則
学校教育課長より説明
- ⑨ 議事3 議案第46号 教育財産の用途変更について
教育施設課長より説明

（2）発言の要旨

- ① 報告1 深谷市教育委員会後援に関する事務取扱要綱に基づく承認について
委員長 事務局より説明を求めます。
教育総務課長 （概要を説明）
委員長 本報告について、質疑はありませんか。
（質疑なし）

- ② 報告2 工事請負契約等の締結について
委員長 事務局より説明を求めます。

教育施設課長 (概要を説明)
委員 長 本報告について、質疑はありませんか。
教育 長 本報告は小中学校のエアコン設置工事の設計業務委託契約としての報告ですが、今後どのように小中学校にエアコンが設置されるか教えてください。

教育施設課長 小中学校のエアコン設置までのスケジュールですが、小中学校共に、今年度既に設計業務委託を発注しています。順番的には中学校が先に、1月下旬にエアコン設置工事発注を今までどおり予定しており、24年度の2学期が始まるころには工事完了の見込みです。小学校については24年度になり次第、工事発注を予定しており、25年度中に工事完了を予定しております。

③ 報告3 平成23年度埼玉県小・中学校学習状況調査結果等の公表に係るガイドラインと深谷市の結果概要について
委員 長 事務局より説明を求めます。

学校教育課長 (概要を説明)
委員 長 本報告について、質疑はありませんか。
教育 長 4, 5頁のガイドラインについては、去年からこういった風に出していますが、各学校でこのガイドラインに基き、市の方向として自校の方法で行う事に関して、保護者からの反応はありますか。

学校教育課長 学校では、昨年の12月頃までに学校だよりを通して、自校の課題を公表しています。学校の方では学力の数値以外で、生活習慣や学習環境の数値等を公表しており、授業の中で受け身的な子供が多いということに関して、家庭でも勉強をさせながら応援したいという声が届いている、といった学校からの報告を受けております。

④ 報告4 平成23年度各教科等に係る教職員研修について

委員 長 事務局より説明を求めます。

学校教育課長 (概要を説明)

委員 長 本報告について、質疑はありませんか。

委員 長 13頁の幼稚園教諭研究会の参加者は40名とありますが、これは非常勤の先生も含んだ人数でしょうか。

学校教育課長 非常勤を含んだ全員の先生が対象となっております。

教育 長 22頁の小学校外国語活動についてですが、その状況と、深谷市がそれを迎えるまでにどのように取り組んできたか、近隣の市町村の情報を教えてください。

学校教育課長 この研修でこういった効果があったということですが、小学校の外国語担当教諭、つまり主幹を含めた全担任の先生方に研修をしていただき、自信がついたということが一番の効果だと思います。AET任せではなく、自信を持って授業が出来るよ

うになってきた、との声を聞いております。また、このような先生方に教えていただいた子ども達は、こころざしの評価でも分かるように、中学校での英語授業で、コミュニケーションへの関心・意欲・態度が県の平均よりもはるかに上回っているといった結果が出ております。経緯ということですが、3年前から英語活動に力を入れようということで、早期英語教育を小学校3年から導入し、それに伴い、中学校への滑らかな接続を図るということでまず小学校を中心に始めたところですが、中学校の先生にも積極的に勉強をしていただき、力のついた子ども達をどう受け入れていき、育てていくか、といったところで研修をしており、今3年目が終わろうとしているところです。近隣市町村の様子ですが、特にこのような研修をしていないということで、県教育局等からも高い評価を受けております。また県の方も、各学校から代表の先生を1人選んで研修をしているという状況ですが、深谷市では全教諭を対象に研修をしているという状況です。

⑤ 報告5 渋沢栄一没後80年記念事業について

委員長 事務局より説明を求めます。

生涯学習課長 (概要を説明)

委員長 本報告について、質疑はありませんか。

委員長 小学生4年生が史跡めぐりをしますが、これは授業の一環として行うものなのでしょうか。

生涯学習課長 この事業に関しては、市内小学校の校長先生にお願いをして、事業の一環として行うものです。市内19校の小学校に依頼をしたところ、17校の学校で参加いただけるとの回答です。

教育長 補足ですが、小学校3,4年は郷土学習があり、自分の住んでいる市等を学んでいます。一種の博物館的な施設等と学校との触れ合いが求められているところ、なかなかそこまでの予算措置が出来ない中で、今回80年記念事業で希望があればバスでの史跡めぐりを行うということで、積極的に19校中17校が手を挙げてくれたということです。

⑥ 報告6 第6回ふかやシティーハーフマラソンについて

委員長 事務局より説明を求めます。

生涯学習課長 (概要を説明)

委員長 本報告について、質疑はありませんか。

教育長 確認ですが、日本陸連の公認のコースという形でやってきたのですが、5年経ちましたが、その辺はどうでしょうか。

生涯学習課長 本コースは日本陸連の公認コースで、公認コースは5年間有効であり、5年ごとに更新の手続きをとらなければいけない制度になっております。本年はその5年目にあたりますので、更新

の申請を行いました。結果等については今後出てくる予定ですが、今のところ公認の決定がいただけるものと確信している状況です。

委員長 昨年と内容はあまり変わらないということですが、昨年参加者にTシャツを渡すのがとても大変だったということで、やはり今年もTシャツは配らないことでよろしいでしょうか。

生涯学習課長 昨年度Tシャツの関係や役員の食事面等、これから煮詰め、随時改正を図っていきます。

教育次長 昨年度からTシャツをスポーツタオルに変えました。

西倉委員 参加状況はどうでしょうか。今年度の人数は昨年度と比べて同数になっているのでしょうか。非常に人気のあるマラソン大会と思うが、当日の欠員率を教えてください。

生涯学習課長 参加状況については、40頁の参加定員にありますとおり、ハーフ、10km、5kmに昨年度から定員制を導入させていただきました。それ以外については、申し込みという形になっております。昨年度定員制のものについては、5,300名程度の募集があり、その内約87パーセントの参加率でした。一般の方や、小中学生、10km等については例年とほぼ同じで、中には伸びたものや、減ったものがありますが、平均すると大体昨年と同様であり、今年も変わらないという状況です。

教育次長 付け加えさせていただきますと、昨年度初めて定員を設けました。その前の年までは、参加者がうなぎ登りに増えており、これ以上増えるとセンターラインを越え、車が走っている片側まで幅をとって走るようになってしまい、危険であることから、昨年初めて定員を設けさせていただきました。定員はハーフ、10km、5kmの3部門だけに設け、それ以外の、市内の子どもや親子を対象とした3km、2.4km、1.6kmについては定員を設けませんでした。その結果予想に反し、ハーフについては申し込み受付時期が、東京マラソンの締切の時期と被ったことにより、若干の定員割れがありました。その代りに3km、2.4km、1.6kmの子どもたちは増え、全体的にはほぼ同様の人数でした。本年度は締切期間を東京マラソンの締切後の11月1日から1月10日までとり、ハーフマラソンのリピーターが増えることを期待しております。

⑦ 議事1 議案第44号 深谷市小中一貫コーディネーター設置規則

委員長 事務局より説明を求めます。

学校教育課長 議案第44号 「深谷市小中一貫コーディネーター設置規則」について、小中一貫教育に係る教育課程の研究を行うことにより、中学校の第1学年におけるいじめ、不登校その他の問題行動の解消を図るため、コーディネーターを設置したいので、この案を提出するものであります。

委員長 本議案について、質疑はありませんか。

委員長 このコーディネーターは、学校の教職にあった方を充てるのでしょうか。

学校教育課長 教職経験豊富な退職校長先生等、地域の方をお願いをしています。

教育長 小中の子どもの交流で、部活動等についての取り組みはありますか。

学校教育課長 中学校に入り、初めての人間関係が部活動であり、子どもにとって部活決めは重要なものです。学校では、新入生説明会後に、実際に部活動を訪問したり、小学6年生が保護者同伴で実際に1時間程度部活動を体験したりしています。中学校の音楽祭では、学区内の小学生を呼んで実際に鑑賞会に参加してもらったりしています。

教育長 小中一貫コーディネーターの職務として色々ありますが、それをスムーズに進めていくために、このコーディネーターが活動していくわけですね。

学校教育課長 はい。

委員長 本議案について、討論はありますか。
(討論なし)
本議案について、採決をいたします。
本議案を原案のとおり決することに賛成のかたは挙手をお願いします。
(全員賛成)
本議案は、原案のとおり可決、確定いたしました。

⑧ 議事2 議案第45号 深谷市小中連携教科指導講師設置規則

委員長 事務局より説明を求めます。

学校教育課長 議案第45号 「深谷市小中連携教科指導講師設置規則」について、小学校で訪問授業を行う中学校教員に代わり、当該中学校において授業を行うため、教科指導講師を設置したいので、この案を提出するものであります。

委員長 本議案について、質疑はありませんか。

柿澤委員 第1条について、コーディネーター設置規則の方には趣旨が書いてありますが、こちらでは趣旨が書いていないような感じを受けますが、小中一貫教育の推進を図る等の趣旨を入れた方がいいのではと思いますが。

学校教育課長 県教委委嘱に関係して設置するということですが、県教委の委嘱は2年間だと思いますが、2年終了後、これは終わるのか、続けるのか教えてください。

学校教育課長 第1条の小中連携教科指導講師ですが、例えば、川本中学校の数学の先生が、川本北小と川本南小に週1回ずつ4時間程度行った場合に、川本中に授業する先生がいなくなってしまう

す。その部分に代わりとして入るものですので、その先生は川本中学校で一人の教員として数学の授業を行っていくという部分で、充てるものですので、小中一貫連携には入らないため、そのような文言は入れておりません。

県教委の委嘱については、当初は3年程という話でしたが、財政の関係もあり、本件については研究を進めていき、効果が十分あれば今後とも続けていきたい、という方向で進めていきたいと考えております。

教 育 長 これは、10分の10県のお金で進めていく事業ですが、当初の予定どおり、県が24年度、25年度やっていくという事は未知数です。東京都の三鷹や国立などでも色々行っているようですので、参考にしながら、今後色々とし恵を出してやっていきたいと思っております。

委 員 長 本議案について、討論はありますか。

(討論なし)

本議案について、採決をいたします。

本議案を原案のとおり決することに賛成のかたは挙手をお願いいたします。

(全員賛成)

本議案は、原案のとおり可決、確定いたしました。

⑨ 議事3 議案第46号 教育財産の用途変更について

委 員 長 事務局より説明を求めます。

教育施設課長 議案第46号 「教育財産の用途変更について」、旧明戸学童保育室の建物を深谷市立明戸幼稚園園舎に用途変更したいので、この案を提出するものであります。

委 員 長 本議案について、質疑はありますか。

(質疑なし)

委 員 長 本議案について、討論はありますか。

(討論なし)

本議案について、採決をいたします。

本議案を原案のとおり決することに賛成のかたは挙手をお願いいたします。

(全員賛成)

本議案は、原案のとおり可決、確定いたしました。

委 員 長 他に事務局より報告等はございませんか。

教育施設課長 小・中・幼の放射線量の測定結果についてですが、教育委員会では8月17日から8月24日の間、市内公立及び私立の保育園、市内幼稚園、小学校、中学校及び公園の空間放射線量の測定を行いました。測定結果については、いずれの場所も文部科学省の示す目標値の、年間1ミリシーベルトを下

回りました。測定結果表には、放射線量の時間当たりの単位としてマイクロシーベルトと表示していますが、この測定値を年間放射線量に換算すると1ミリシーベルト以下となっています。なお、この測定の結果については、9月1日付けで学校を通じて保護者へお知らせし、併せて市ホームページにも掲載したところです。今後の放射線量の測定については、東日本大震災対策本部の中で、四半期に一回程度の節目節目に測定を行うことで、市の方針が出されましたので、教育委員会としては、学校行事等に合わせ、入学式前、プール開始前、運動会前、冬場の風の出るシーズン前の年4回ほど、測定を予定しています。

委員長 本日の議事はすべて終了いたしました。
次回の会議、第10回定例会は10月11日（火）午後3時開会です。

以上で、平成23年深谷市教育委員会第9回定例会を閉会いたします。